



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無
25

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,974	0.0	143	17.1	165	14.9	104	212.4
2023年3月期第1四半期	4,976	5.4	122	267.8	143	150.7	33	△53.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	14.74	—
2023年3月期第1四半期	4.72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	15,160	7,051	46.5	999.38
2023年3月期	15,911	7,000	44.0	992.15

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,051百万円 2023年3月期 7,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,300	0.9	△186	—	△158	—	△140	—	△19.84
通期	21,900	0.4	400	5.6	450	3.0	200	6.8	28.35

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	7,275,500株	2023年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	220,000株	2023年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	7,055,500株	2023年3月期1Q	7,055,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上5類への移行により、経済活動の正常化が進み緩やかな回復傾向にある一方、地政学的リスクの高まりを背景に、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や為替変動による影響等が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、個人消費の持ち直しは見られるものの、仕入価格、水道光熱費及び備品価格の上昇等、費用は増加傾向にあり厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『遂げずばやまじ（成功するためには成功するまで続けることである）』を掲げました。今後当社がさらなる成長発展を可能にしていくために必要な事業への投資、また店舗移転に伴う設備投資等を積極的に進めていく方針を固め、社員が一丸となって協力し合うことにより変化の厳しい状況においても売上及び収益を確保するべく業務に取り組んで参りました。

2023年4月に宮城県栗原市に当社2号店となるシャトレーゼ築館店をグランドオープン（プレオープンは同年3月）致しました。当第1四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが9店舗、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗（前年同期間比1店舗増）、宝くじ売場が5店舗、コマダ珈琲店が1店舗、シャトレーゼが2店舗（前年同期間比1店舗増）の合計124店舗（前年同期間比2店舗増）となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は4,974百万円となり、前年同期間比1百万円（前年同期間比0.0%減）の減収となりました。経常利益につきましては165百万円となり、前年同期間比21百万円（前年同期間比14.9%増）の増益となりました。四半期純利益は104百万円となり、前年同期間比70百万円（前年同期間比212.4%増）の増益となりました。減収要因は主として、TSUTAYA事業におけるDVDレンタル・セル等の販売低迷、運営体制の見直しに伴った営業時間の短縮及びイエローハット事業における夏タイヤの度重なる値上げとそれに伴う駆け込み需要により2023年3月に販売ピークを終えたこともあり、前者をカバーできず減収となりました。増益要因は主として、上昇傾向にある費用を全社協力のもと全体的に抑えられたことにより増益となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、コロナ禍で減少した来店客数の回復をはかるべく、車検等カーメンテナンスの販売に注力したものの、夏タイヤの度重なる値上げとそれに伴う駆け込み需要により2023年3月に販売ピークを終えたこともあり、当第1四半期累計期間は概ね横ばいで推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3,784百万円（前年同期間比0.9%減）、セグメント利益（営業利益）は228百万円（前年同期間比5.7%減）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、DVDレンタル・セルの販売低迷及び運営体制の見直しに伴う営業時間の短縮により、当第1四半期累計期間の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高433百万円（前年同期間比10.4%減）、セグメント損失（営業損失）は20百万円（前年同期間は31百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、収益構造の見直し等による粗利率の向上に注力したものの、当第1四半期累計期間は売上高、営業利益共に概ね横ばいで推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高243百万円（前年同期間比0.7%増）、セグメント利益（営業利益）は13百万円（前年同期間比6.9%増）となっております。

[その他]

2023年4月に宮城県栗原市に当社2号店となるシャトレーゼ築館店をグランドオープン（プレオープンは同年3月）致しました。シャトレーゼ事業は出店以来お客様の来店状況も良く、全体売上高に貢献致しました。また、カーセブン事業は中古車市場が比較的安定していることもあり、売上高は好調に推移致しました。

ダイソー事業、保険事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

コマダ事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高512百万円（前年同期間比18.6%増）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同期間比0.7%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は841百万円減少し、7,295百万円（前事業年度末8,137百万円）となっております。これは主に、現金及び預金が343百万円、売掛金が287百万円及び未収入金（その他の流動資産）が306百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の残高は90百万円増加し、7,864百万円（前事業年度末7,774百万円）となっております。これは主に、土地が166百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は15,160百万円（前事業年度末15,911百万円）となっております。

② 負債

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は756百万円減少し、5,618百万円（前事業年度末6,374百万円）となっております。これは主に、買掛金が529百万円、未払金が189百万円及び未払法人税等が158百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は46百万円減少し、2,490百万円（前事業年度末2,536百万円）となっております。これは主に、長期借入金が54百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は8,109百万円（前事業年度末8,911百万円）となっております。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は51百万円増加し、7,051百万円（前事業年度末7,000百万円）となっております。これは主に、四半期純利益を104百万円計上並びに剰余金の配当を70百万円支払ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日の「2023年3月期 決算短信」で公表致しました第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	989,110	645,801
売掛金	793,060	505,986
商品	5,784,832	5,852,014
貯蔵品	1,914	1,754
その他	568,544	290,081
流動資産合計	8,137,462	7,295,638
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,362,231	2,319,379
土地	2,320,859	2,487,108
その他（純額）	673,794	678,530
有形固定資産合計	5,356,886	5,485,018
無形固定資産	23,895	23,031
投資その他の資産	2,393,647	2,356,793
固定資産合計	7,774,429	7,864,843
資産合計	15,911,892	15,160,482
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,560,848	1,031,055
短期借入金	3,050,000	3,050,000
1年内返済予定の長期借入金	309,993	279,993
未払法人税等	170,920	12,466
賞与引当金	90,416	16,666
契約負債	434,077	440,320
その他	758,627	788,236
流動負債合計	6,374,882	5,618,738
固定負債		
長期借入金	516,683	461,685
退職給付引当金	1,585,942	1,594,832
役員退職慰労引当金	161,722	162,821
資産除去債務	175,954	176,784
その他	96,609	94,513
固定負債合計	2,536,911	2,490,635
負債合計	8,911,793	8,109,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	4,591,227	4,624,687
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	6,894,137	6,927,597
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	105,960	123,509
評価・換算差額等合計	105,960	123,509
純資産合計	7,000,098	7,051,107
負債純資産合計	15,911,892	15,160,482

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,976,346	4,974,442
売上原価	2,597,135	2,627,360
売上総利益	2,379,211	2,347,081
販売費及び一般管理費	2,256,738	2,203,623
営業利益	122,472	143,458
営業外収益		
受取配当金	7,320	6,884
受取手数料	4,840	5,581
産業廃棄物収入	4,046	3,381
その他	14,304	14,125
営業外収益合計	30,512	29,972
営業外費用		
支払利息	5,585	5,148
その他	3,706	3,192
営業外費用合計	9,291	8,340
経常利益	143,692	165,090
特別利益		
固定資産売却益	—	49
特別利益合計	—	49
特別損失		
固定資産除却損	222	0
関係会社株式評価損	59,160	—
貸倒引当金繰入額	22,000	—
特別損失合計	81,382	0
税引前四半期純利益	62,310	165,140
法人税、住民税及び事業税	10,136	9,626
法人税等調整額	18,881	51,499
法人税等合計	29,018	61,125
四半期純利益	33,291	104,014

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,818,189	484,118	242,014	4,544,322	432,023	4,976,346	—	4,976,346
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,579	298	6	2,883	6,508	9,392	△9,392	—
計	3,820,768	484,417	242,021	4,547,206	438,532	4,985,738	△9,392	4,976,346
セグメント利益 又は損失 (△)	242,136	△31,933	12,606	222,809	21,318	244,128	△121,655	122,472

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△121,655千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,784,383	433,861	243,636	4,461,881	512,561	4,974,442	—	4,974,442
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,579	368	74	5,022	9,947	14,970	△14,970	—
計	3,788,962	434,229	243,711	4,466,903	522,509	4,989,413	△14,970	4,974,442
セグメント利益 又は損失 (△)	228,238	△20,152	13,473	221,559	21,472	243,031	△99,573	143,458

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△99,573千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。